

叁

環境保全活動報告書

令和4年度



KSK 湖国精工株式会社

<http://www.kokokuseiko.co.jp>

環境保全の歩みと取組み

(環境方針)

1. 地球環境にやさしい事業活動をする
2. 全従業員が力を合わせて、環境に配慮し、人と地球の共生をはかる
3. 環境関連法規制を遵守する
4. 環境マネージメントシステムの継続的改善に努める
5. 環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努める

環境保全の歩みと取組み

平成13年2月26日、大津市と[環境保全協定書]を締結する。

(目的)

次の世代により良い環境を引き継いでいくために、大津市・市民・事業者がそれぞれの役割と責任を認識し、快適で環境への負荷の少ない持続可能な街づくりに、自主的・主体的に行動するとともに協働して取組むことが求められている。

(活動の推進)

事業者は実施可能な範囲で自主的・主体的に環境保全に係る目標等を設けて環境への負荷の低減、資源の循環及びエネルギーの効率化、その他環境保全に係る活動を実施するものとする。

(環境管理体制の整備・充実)

環境保全活動を継続して推進するため、必要な組織を整備し、環境保全に関する方針及び目標を定め、その実施状況を点検しなければならない。

また、環境管理体制はISO14001に沿ったマネージメントシステムの構築また、市の定める手引きに従う整備により行うものとする。

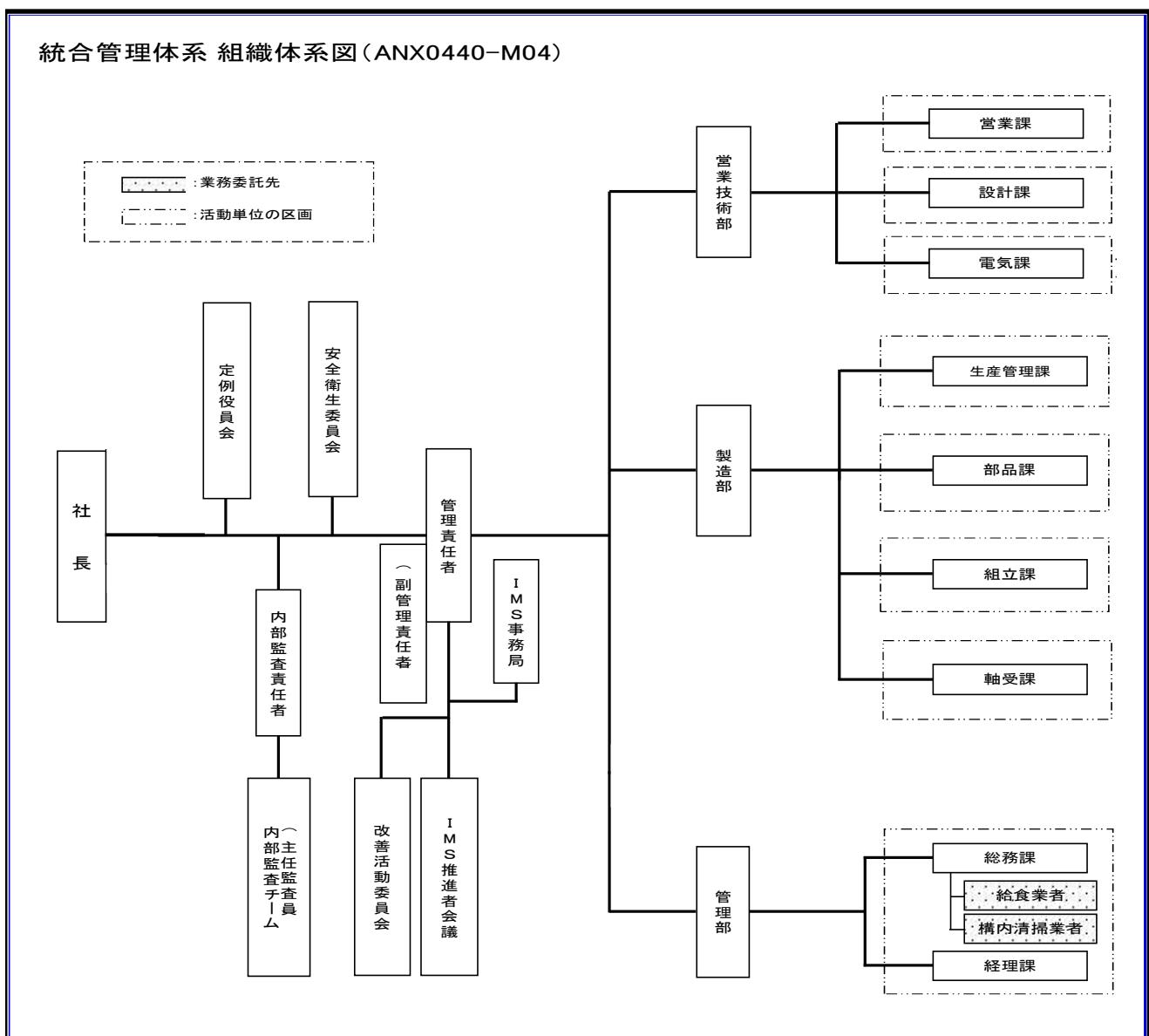
(報告)

環境保全活動の実施状況について取りまとめ、原則として毎年1回、市に報告する。

主な環境取組テーマ

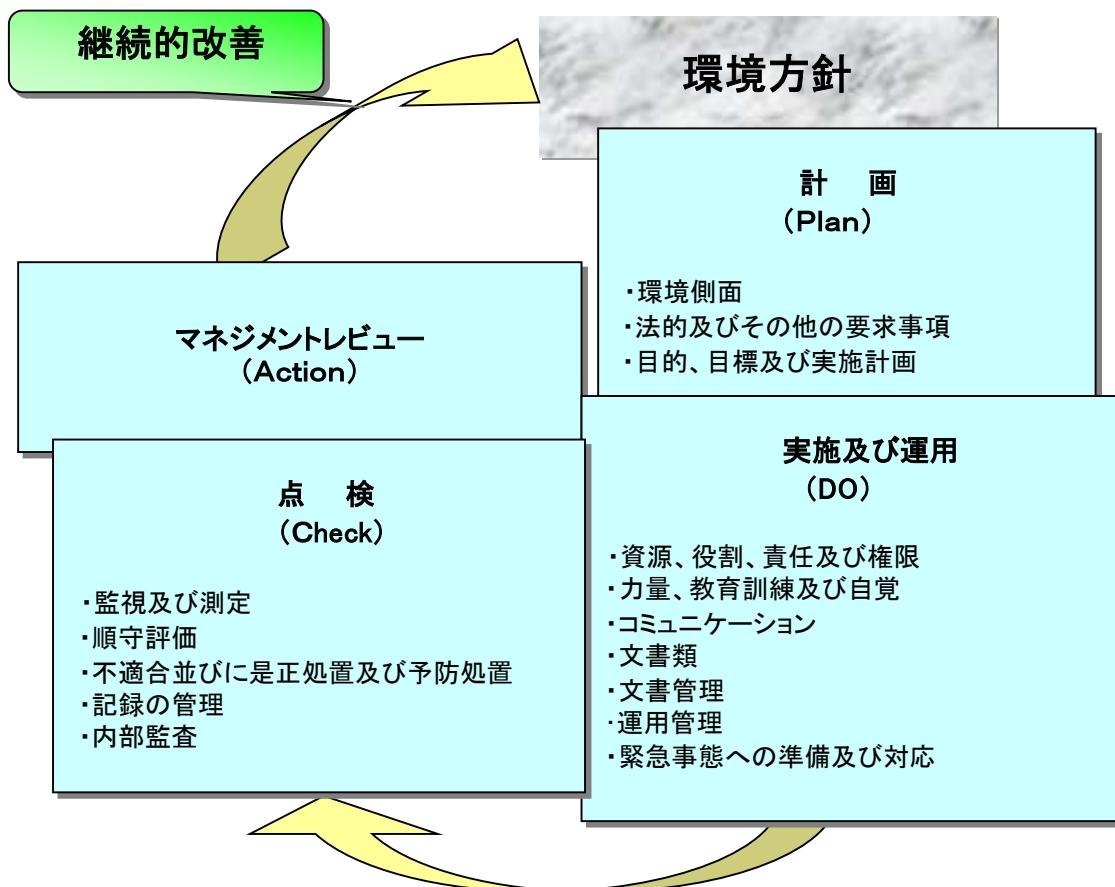
- ① 地球温暖化の防止
- ② 廃棄物の削減
- ③ 琵琶湖の汚染防止
- ④ 環境に関する地域社会への貢献
- ⑤ その他の取組み

環境管理組織体系図



環境マネージメントシステムについて

～P・D・C・Aサイクルによる、継続的改善の管理システム～



- P-D-C-Aのサイクルで構成されているシステムで、このシステムを運用することにより継続的改善を目指す。
- 汚染の予防と環境関連法規制の遵守が要求されており、これに対するシステム構築と運用を行なう。
- 環境方針及び目的・目標を定め、体系的な改善を行うために環境影響の原因である環境側面を抽出し、これの管理・改善を行う。環境影響を出してから対策するのではなく、発生源の管理・改善を目指している。
- 環境影響の著しいものを取上げ、重点的に管理・改善を行う。
- あらゆる組織に適用できるシステムで、システム導入は組織の自主的な活動により行なわれ、トップの方針に基づき、全員参加で環境負荷を低減するシステムである。

環境目的・目標 実施計画

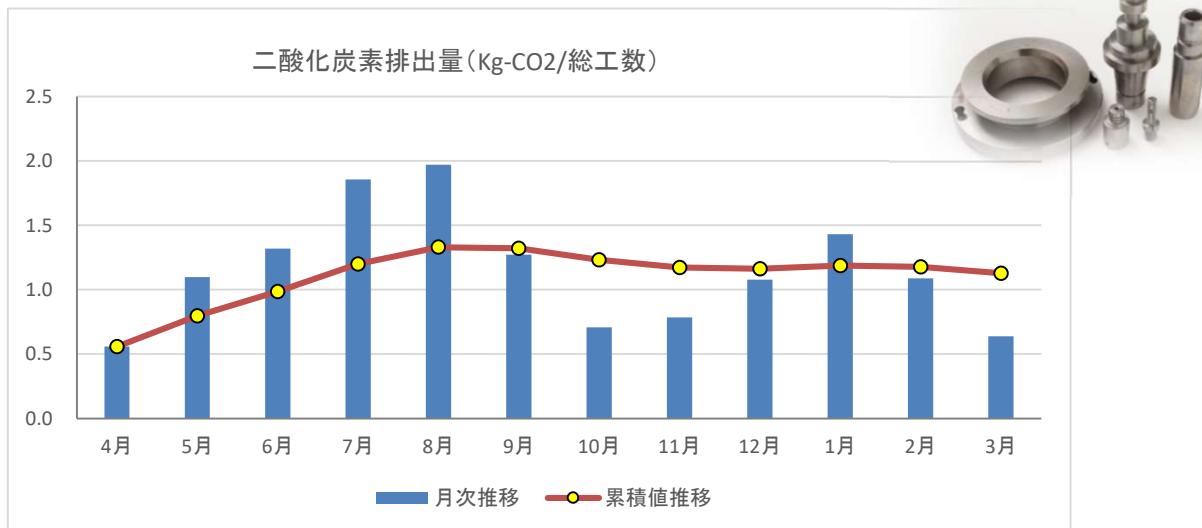
環境方針	目的	72期 (2022/4-2023/3)		
		取組み活動		目標
地球環境にやさしい事業活動をする 全従業員が力を合わせて、環境に配慮し、人と地球の共生をはかる	温暖化対策CO2削減 (交通事故防止)	交通安全活動 ・空ぶかし、急発進防止、法定速度以下の運転 ・車両運転チェック(車両運転チェック表) ・車両の省エネ運転 * 通勤でも同じ(バイク、自転車など含む)		教育実施
	廃棄物の削減	廃棄物削減活動 ゼロエミ化推進(教育実施)	産廃	90%
			一般	51.1%
	節電	・省電力設備の調査、投資対効果検討(計画段階の都度) (加工機、パソコン、サーバーなど)		効果見える化確立し実施
環境関連法規制を遵守する 環境マネジメントシステムの継続的改善に努める	地域貢献	地域社会への貢献 盛越川の清掃の清掃(計画に基づき実施)		2回
	法令遵守	環境関連法規制情報を入手し、法令規制等要求事項管理表を都度確実に更新する。		関連部署、職制に共有連携
	継続的改善	外部審査 指摘、アドバイス対応		都度
		内部監査(2回) 指摘、アドバイス対応		都度
		マネジメントレビュー指示事項対応		都度
環境汚染の未然防止と環境負荷の低減に努める	輸送による油漏洩防止	輸送中の油防止対策の定着と維持 交通事故災害時の緊急対応訓練		訓練又は教育実施
	環境災害未然防止	構内環境影響災害防止活動 ・安全衛生環境パトロール点検(毎月) →各部門 朝礼等で従業員に展開する		改善実施 3件以上
	環境負荷の低減	安全データシート(SDS)の入手。掲示、取り扱い指導 有害性の低い潤滑油・切削油の調査 切り替え推進(SDS)		教育実施 2回以上
	環境汚染緊急対応	緊急事態対応手順書(油の漏洩時の対応)訓練の実施と レビュー必要により見直し		訓練又は教育実施
	環境汚染軽減	オイルトラップの維持管理		点検実施
	環境災害未然防止	危険物倉庫の管理		点検実施



- 新型コロナ感染症の流行に伴い、事業活動の制限が大きくなり、受注は低減した。
そんな中、受注量は若干回復傾向となるものの、引き続き電装部品や一部樹脂部品などが入手できず、設備製作の売上を伸ばすことができない状況。
- コロナ3年間で様々な生活様式の革新や衰退が起き、それは事業でも変革を求める状況となる。
収束しないコロナ感染症とともに規則や慣習を見直し、半歩半歩と取組を進め
今後事業継続性を担保するために全体最適性の中で、負けない組織にするための
行動を引き続き実践していく。

地球環境にやさしい事業活動/全従業員が力を合わせて環境に配慮し人と地球の共生をはかる

前年比 削減目標 5%減



[二酸化炭素排出量の推移]

受注を積み上げるために、短納期対応が一層増大も
働き方改革の残業規制と相まって休出削減が奏功
したか。

目標 2.128 kg-CO₂/H
実績 1.127 kg-CO₂/H



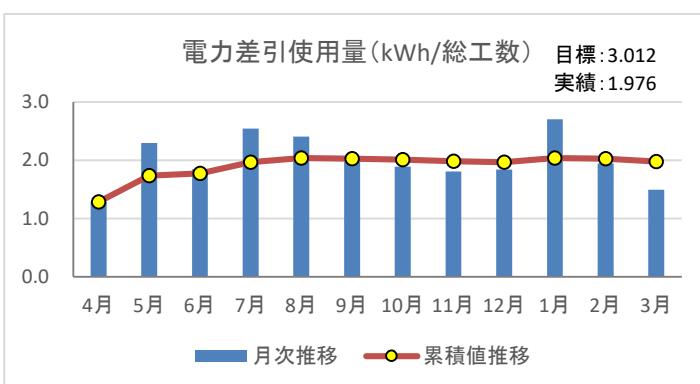
1)電力の使用量 (発電相殺含まず)

令和4年度 467,646 kWh
令和3年度 512,293 kWh
令和2年度 434,975 kWh

2)都市ガスの使用量

既にガス空調を導入しており、起動分散化や清掃、
日常できることの継続でGHP更新は投資圧縮先送り
令和4年 40,464 m³

令和3年	42,097 m ³
令和2年	35,738 m ³
令和元年	37,531 m ³
平成30年	46,542 m ³
平成29年	47,457 m ³



*発電量(4月～3月)

51,498kwh

- * コロナ対策継続で集合行事中止継続
- * 曜日時間が長く、前年より発電量増
- * 導入9年目にして、当初計画より早く、次年度中回収見込

3)コピー用紙使用量

令和4年度	0.818 kg/売上百万円
令和3年度	0.970 kg/売上百万円
令和2年度	1.062 kg/売上百万円
令和元年度	0.871 kg/売上百万円

小口の設計案件(改造や修理)は引き合い増
苦しいときほど効率落ち

廃棄物のゼロエミ化推進

排出そのものを減じるために在庫・調達管理の徹底・不良削減等に取り組んでいる。

今期は、包装工程から排出されるビニル類を事務所ゴミ収集用に転用や来客用プラマドラーを廃止し木製マドラーに転換するなど 小さなことの意識転換を図った。

産廃

100.00%

事業系一般 59.90%

総ゼロエミ率 95.2%

5S活動の標準化

5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)について、前年度に手順マニュアル化を行い、本年度から「全国安全週間」に定例実施を開始した。

2022年度は、新規に36件の改善指摘箇所を得た。概ね1ヶ月以内にすべてを改善を進めている。こうした定期的な活動を通して、維持することと同時に教育となる。

地域活動

隣接する盛越川の清掃を、6/10、8/31、11/2に実施。(一部コロナ対策で更に分割実施)

2022年度から「ふるさと盛越川を愛する会」会長となり、従来とは違う運営事務を試みている。



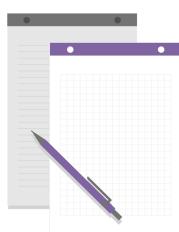
環境関連法規制を遵守する/環境マネージメントシステムの継続的改善に努める

- 「法規制等要求事項管理表」を作成し、適用される法規制やその変化点管理を継続
特に環境以外にも多くの法令改正が伴い、監視作業と今後に引き継いでいく資料とするために定期的に評価している。(定例4月評価/法令加筆修正は隨時)
- PRTR法対象の集計及び届出
質量1t未満で届出対象外
- 産業廃棄物管理票交付状況報告書
前年比 廃プラ割合が大幅に減少
報告書は 2023年4月提出済
- 事業系廃棄物の減量・資源化及び適正処理に関する計画書
大きな変化はないが、コロナ対策で資料やチェックシートが増え、横ばい
報告書は 2023年4月提出済

提案活動

各個人ごとに毎月提出するもので、それぞれができる改善をとおして効率UPやモチベーションUPなどにも通じ継続的に続けている。

計画	117.0 件/月
実績	153.0 件/月



環境負荷の未然防止と環境負荷の低減に努める

緊急事態訓練 等

一級河川「盛越川」へ隣接しているため、水質の定期監視を自主的に継続している。

年に1度測定を実施し、大津市基準24項目基準で異常なし。これら以外の異常なし。

又、一級河川に隣接し、琵琶湖へ直結していることからも特に新入者(新入社員や中途採用者等)を重点に油の保管場所や零したときの想定をして訓練をしている。

火災防災訓練等においては、コロナ禍で本年度も教導型を導入し見て判る訓練につながった。

教養型消防・防災訓練に使える映像や資料

防災訓練に関する動画
大阪市消防局 動画「大地震発生時の対応について」(全編 約16分)

防災訓練に関する動画
※防災訓練動画内でも、消火・避難・通報について学ぶことができます。
消火器の使い方(約2分) 屋内消火栓の使い方(約2分) 避難誘導(約2分) 119番通報(約2分)

各種様式・リーフレット
理解度チェック・防火防災セルフチェック
訓練通報書
周知用リーフレット

詳しくは、中央消防署ホームページをご覧ください！



教養型消防・防災訓練理解度チェック

Comprehension test

事業所名 氏名

消防・通報・避難の個別解説動画を見て、カッコ内に語句を記入しましょう。

消火編 (消火器)
消火器の使用時の注意点
①消火器が取扱いやすく()を確認して!
②消火器は()で向くように燃えている()に!
③吹き出しに注意!()を近く!

消火編 (屋内消火栓)
「1人操作用」の使い方
①()開放
②()延長
③()を開き放水

通報編
①ご自身の事業所の所在地を記入してください。
②到着した消防隊との()を指定するとスムーズ。

避難編
①避難器具が無いよう、適切に()を配備しましょう。
②()や()を活用すればより効果的。

For your life , for your safety...

教養型火災訓練



レビューにより緊急資材BOXの表示拡大
誰でも見えるサイズへ

6) 環境負荷低減

- 化学物質管理が一層強化される法改正の中で、R Aの実施とS D Sの最新化を取組み。
代替品への転換や種類の集約など引き続き取り組み中



-- 当年度の主な外部状況 --

* ISO認証状況 *

サーベイランス審査を受け、継続認証

* 2022年10月 晴嵐小学校工場見学

・生徒・先生 コロナ感染症拡大の中、日程調整つかず断念

* 2022年11月 客先防災監査 受審

・大きな指摘は無し

・延焼の原因となりうる木製踏み台をアルミ製踏み台に切替開始

-- 2023年度の主な計画 --

* 令和5年6月

2015年度版 サーベイランス受審

* 内部監査員の更なる養成

若年層の2015版切替推進

* 化学物質等 管理物件の見直し推進

化学物質管理の取組開始と化学物質管理責任者等の選任準備

* 業務フロー見直しによるムダ削減